

来週の「売り物記事」はこれ



2018年7月13日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

朝鮮出身元B C級戦犯の闘い

名誉回復を求めて

15日(日)



筑第二次世界大戦では、朝鮮や台湾の人々が「日本人」として戦争に参加し、敗戦後は戦勝国の裁判で「戦犯」として刑に服した人もいます。

1952年、日本の独立とともに、この人たちは日本国籍を失います。日本政府は「日本人ではない」との理由で、日本人に対しては行った援護を拒否し、現

在に至ります。

90歳を過ぎた今も名誉回復と問題解決を求めて闘う、元「戦犯」の戦後に迫ります。筆者は東京学芸部の栗原俊雄記者です。



きらり 似顔絵パフォーマー・桜小路富士丸さん

サラダぼうる面 16日(月)



観客の似顔絵を描きながら、歌って踊るパフォーマーの桜小路富士丸さん。全国各地の商店街や遊園地などのイベントに出演しています。

確かな絵の才能をもちながらも歯にきぬ着せないトークを繰り出すことから、異名は「美しき毒舌スナイパー」。「観客を巻き込んで笑顔にするには、どうすればいいか」。独自のスタイルを確立するまでの軌跡をたどります。

変革 あいおいニッセイ同和損害保険

1、2面 17日(火)～

時代の波にもまれる日本企業を描く「変革」。第7部は、あいおいニッセイ同和損害保険を追います。インターネットで「つながる車」の普及や災害多発など、経営環境の激変への対応を迫られる損保。自動車保険の開発や保険金支払いの現場取材し、生き残りをかけて苦闘する社員たちを描きます。



食 「魔女の宅急便」テーマに

くらしナビ面 17日(火)



いよいよ夏休みの到来です。本や児童書に出てくる料理を、親子で作ってみてはいかがでしょうか。そこでお勧めなのが児童書「魔女の宅急便」(全6巻)。主人公・キキが食べた料理やお菓子は、いったいどんな味だったのでしょうか。

「コリコの町名物 小魚の空揚げ」や「ライちゃんの水玉スープ」「砂漠のお菓子」。料理研究家の河合真理さんに教えてもらいました。

女性ティーン誌「nicola（ニコラ）」好調のワケ

夕刊特集ワイド 17日（火）

「すべての中学生をかわいくする♥NO. 1ティーン雑誌」。

こんなキャッチコピーの女性ティーン誌「nicola（ニコラ）」（新潮社）が雑誌不況の中で好調です。余白を残さないように情報が詰め込まれ、大勢の専属モデルが登場する——。そんなページであふれています。

昨年は販売部数を伸ばし、発行部数の約15万部が、ほぼ完売となる月もあります。ニコラを支持している小学生から中学生の「今」を追いました。



羽生、タイトル100期なるか 夕刊社会面 17日（火）ほか



前人未踏の「タイトル獲得通算100期」がかかった羽生善治竜王（47）が17日、棋聖戦第5局で記録に挑みます。挑戦者の豊島将之八段（28）とは2勝2敗、次の最終局に勝てば100期達成です。

羽生竜王は昨年12月、竜王を獲得して99期を達成。4月からの名人戦でも記録に挑みましたが、佐藤天彦名人の前に惜しくも敗れました。棋聖は10連覇中と相性の良いタイトルです。しかし豊島八段も若手の実力者。タイトル挑戦は5度目、「今度こそ」を期しています。

ひと味違った水族館の楽しみ方

科学面 19日（木）

日本は世界有数の水族館大国です。悠々と泳ぐ魚たちは来館者を癒やしてくれますが、生き生きとした姿を見せるために、施設自体にはさまざまな工夫が凝らされています。

科学面で連載中の「深海アイドル図鑑」が50回となり、夏休みが間もなく始まることから、水族館の裏側取材しました。ひと味違った水族館の楽しみ方を紹介します。



性教育のあり方 行き過ぎか、必要な知識の伝達か

オピニオン面 20日（金）



10代の人工妊娠中絶や性感染症が広がる中、性教育はどうあるべきでしょうか。

東京都足立区立中学校が今年3月、卒業を控えた3年生の性教育の授業で性交や中絶、避妊を取り上げたことに都議会で「不適切」との声が上がり、論争になりました。行き過ぎでしょうか、それとも、必要な知識の伝達でしょうか。望ましい性教育のあり方とは。

時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。